

◎拠点整備の経費

古都中心市街地整備事業

鎌倉深沢地域整備課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【事業の内容】

(1) 古都中心市街地整備事業

- ・ 鎌倉駅西口周辺地区整備計画等策定業務委託により、鎌倉駅西口駅前広場整備案の検討、駅前広場利用実態調査、建物共同化事業計画案の検討を行った。

(2) 古都中心市街地整備事務

- ・ 拠点整備についての情報を収集するため、(財)都市みらい推進機構、市街地整備促進協議会、まちづくり交付金情報交流協議会に参加し負担金を支出した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

鎌倉駅周辺地区の整備(古都中心市街地まちづくり構想の推進)(5-2-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
6,581	6,353	6,257		96	
主な支出内訳					
・ 古都中心市街地整備事業					
古都中心市街地まちづくり専門委員報償費					0
鎌倉駅西口周辺地区整備計画等策定業務委託料					5,817
・ 古都中心市街地整備事務					
一般文具等消耗品費					160
陽画等印刷製本費					0
都市みらい推進機構負担金					200
市街地整備促進協議会負担金					50
まちづくり交付金情報交流協議会会費					30

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 拠点-04 古都中心市街地整備事業						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1304 古都中心市街地整備事業	1310 古都中心市街地整備事務				
主管課	鎌倉深沢地域整備課	関連課	道路整備課、都市景観課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	鎌倉駅周辺地区の都市整備を推進していきます。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	6,257千円	25,400千円	129,779千円	・18年度の主な経費 鎌倉駅舎交通施設バ リアフリー化整備事業 費補助の経費		
	(国・県)		0千円	83,207千円			
	(負担金等)		0千円	0千円			
	(一般財源)	6,257千円	25,400千円	46,572千円			
	人員配置数	2.5人	2.5人	2.5人			
	人件費	24,547千円	23,220千円	23,294千円			
協働の パートナー		古都中心市街地まちづくり 協議会等	古都中心市街地まちづくり 協議会等				
事務事業 運営経費	総事業費	30,804千円	48,620千円	153,073千円			
	市民1人当 りの経費	175円	276円	874円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
鎌倉駅西口駅前広場整 備事業(基本台意)	△	目標値	30%	30%	50%	100%	
		実績値	28%	28%			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> 西口駅前整備事業を推進する上で、駅前広場整備及び建物共同化に係る一部権利者との合意形成が図られていない。併せて、交通事業者などの理解促進が進んでいない。 事業区域の北側道路についての境界査定が不調になっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> 事業への協力を得られていない権利者に対して、事業の意義や効果などについて、継続的に面談を実施し説明等を行ってきた結果、事業参画にあたっての条件が示された。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> 事業への協力を得られていない権利者の合意形成 交通事業者などの理解・協力 北側道路の査定確定
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> 事業への協力を得られていない権利者から示された条件の検討や調整を行い、併せて、他の権利者との調整状況も踏まえて、駅前広場整備及び建物共同化について、整備の基本的方向を決定する。 交通事業者などと調整を行い、事業への理解と協力を得ていく。 北側道路の査定確定に向けた調整を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	本事業は、市役所前交差点改良、鎌倉駅西口駅前広場整備、建物共同化事業など、鎌倉駅周辺地区が抱える様々な課題解決に必要な事業を実施するもので、効率的な事業実施に努めながら、多くの市民・観光客が利用する古都鎌倉の玄関口に相応しい利便性・快適性の創造に向け、早期に改善する必要がある。		
担当課長氏名:	鎌倉深沢地域整備課長 山内 廣行		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	本事業は、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を創造するものであり、第2期基本計画のリーディングプロジェクトに位置づけられている重要事業であるため、早期実現に向け着実に推進していく必要がある。		
担当部名	拠点整備部	部長名	瀧澤 由人